

## 2023年度事業計画

### (1) 特定非営利活動に係る事業

#### ① 一般社会に対する教育、啓発活動

##### 1. 第30期ボランティア学校開催（企画部）

新型コロナの状況を考慮しながら、計画する。

今年度も外部からの参加費を参加回数に関わらず定額として、より熱意のある参加者を求める。会員は参加費無料とする。

宣伝活動を拡大し参加者拡大と電話相談員の獲得に向けて努力する。

受講者に対して、電話相談員への勧誘を積極的に行う。

##### 2. AIDS文化フォーラム in Yokohama 参加（企画部）

今年の文化フォーラムは8月4～6日に開催予定で、ANYからは1講座を展開することとし、東京女子医大の水主川教授に講演を委嘱する。（5日午前を希望でエントリーした。）

##### 3. 世界エイズデーin横浜参加（企画部）

11月に横浜駅東口で開催予定と思われるYAAIC主催の行事に参加する。従来通りであれば、パンフレット配布、子供向けパズル、その他の企画をする。

##### 4. 出前講座講師派遣（出前講座部）

出前講座の実施：出前講座の機会を積極的に作る為に、PRの方法、範囲を拡大する。当面、年間10回以上を目標とする。また、講師数拡大の方策を考える。

##### 5. 啓発活動、記念事業の企画

昨年度はAIDSネットワーク横浜創立30年であったが、新型コロナウイルスの影響で記念事業をできなかった。実施に向けて、感染予防の視点を考慮しつつ、企画を行う。

#### ② 電話相談（電話相談部）

実施形態：例年同様、1回に2名が担当し、今年度から時刻を変更し、毎週水曜日（17：00～20：00）・土曜日（14：00～17：00）に実施する。

1名分は横浜市休日、夜間電話相談として受託する。

また、センターの閉館日（夏季、年末年始）と重なる場合は休止とする。

相談員研修：事例検討会を奇数月の第二土曜日 12：30 に予定する。5月は横浜市個人情報研修、3月は電話相談部総会を兼ねる。

また、外部団体の様々なイベント、講演会などの情報を収集し、相談員の参加を呼びかける。

カードの作成、配布：名刺サイズカードを既設置の保健所などに追加配布をするとともに、新規設置箇所を検討し、設置を依頼する。

報告：横浜市健康福祉局に、月ごとに件数の、半年毎に相談内容の報告を行う。

#### ③ 広報活動（広報部）

ニューズレター発行：ANYが企画する事業や研修会等への参加などのHIV/AI

D S の理解や予防啓発、共生社会に向けての活動を中心に記事に起こし、会員や社会に向けて発信していく。

ホームページ更新：ニュースレター、情報公開、新情報など適宜更新する。

ボランティア学校などの掲載の要請：新聞社、タウン紙、Y A A I C の「オープン」などに掲載を要請する。

読者拡大：横浜 A I D S 市民活動センター発行の「オープン」への同封、福祉保健センターへの送付など、読者拡大の可能性を検討する。

外部団体との情報交換、交流：さまざまな関連団体の企画する行事、会議に積極的に参加するとともに、会員、一般に対して情報の提示、報告を行う。

#### ④ 行事積立金

創立 30 周年記念行事を企画する。

#### ⑤ この法人の目的を達成するために必要な活動（管理部）

財務：支援金、助成金などの情報収集・申請を行う。

寄付金拡大のための模索を行う。

事務局：運営委員会を、8 月以外毎月開催し、各部会間の連絡、調整を密にする。

必要な書類の作成・整備・提出を行う。

事業に必要な会計処理を行う。

#### ⑥ 今年度の課題

##### 1. 会員の拡大、定着を図る。

- ・ ボランティア学校の宣伝を通じて、養護教諭、看護・保健師会、看護・福祉学校学生への紹介、勧誘をする。
- ・ 横浜市の商工会議所、ライオンズクラブ、地域連合、地域労働福祉協議会、県などの退職者会、厚生福利振興会などへの紹介、勧誘をする。
- ・ 会員への情報発信など、サービスを改善する。
- ・ 電話相談員の増員は喫緊の課題であり、様々な手立てで新規相談員の獲得に努める

##### 2. 財政基盤強化

- ・ 諸経営者団体、生保会社、薬剤師会、ゴム関係の会社などに法人会員の紹介、勧誘をする。
- ・ インターネットを通じた寄付行為、提携の可能性を検討する。

##### 3. 計画実施についての考慮

- ・ 新型コロナウイルスの流行、感染状況により、計画実施に様々な支障、影響が想定される。本定期総会での議決に関わらず変更を余儀なくされる場合は、その検討、決定について運営委員会に委ねるものとする。